

資源植物科学研究所「ストレス応答遺伝子解析装置」利用手引き

1. 装置の管理と事前受付について

ストレス応答遺伝子解析装置は大麦グループで保守管理します。利用に関しては、事前に管理責任者（佐藤）あるいは解析担当者（吉田）に連絡し、説明をうけて下さい。なお、解析可能なサンプルは植物で、解析用のプローブ等もご自分で準備できる場合に限りです。



2. 利用申込み

本装置の利用を希望される方は、「植物科学最先端研究ネットワーク利用申請書」により利用申請していただきます。利用案内については、以下のサイトをご覧ください。利用予約表もここからご利用になれます。

<http://www.rib.okayama-u.ac.jp/network/network2.html>

3. 利用できるプロトコルの種類

本装置はイルミナ社製HiScanシステムの互換機です。装置の内容につきましてはメーカーの提供する以下のURLでご確認ください。

<http://www.illumina.com/products/bytype/sequencing-systems/HiScan-system.html>

現在のところ利用可能なプロトコルはGolden GateアッセイおよびInfinium Assayに限られておりますので、Illumina社URLからそれぞれのプロトコルをご確認ください。

GoldenGateアッセイ：<http://www.illumina.com/protocols/bytype/sequencing-protocols/golden-gate-sequencing-protocol.html>

Infiniumアッセイ：<http://www.illumina.com/protocols/bytype/sequencing-protocols/infinium-sequencing-protocol.html>

以上を参照の上、それぞれのプロトコルに必要な消耗品をご準備ください。

http://www.illuminakk.co.jp/product/arrays_reagents/reagents_kits.shtml

データの解析は基本的に使用者が行いますが、解析をご希望の場合はご相談ください。

4. 参考論文

オオムギのGolden Gateアッセイを利用したSNPマッピングの事例は以下をご参照ください。

<http://www.biomedcentral.com/1471-2164/10/582>

5. 経費の負担について

利用に関わる消耗品については利用者負担でお願いいたしますので、各自で準備下さい。また、電力量は課金を予定しています。メンテナンスについても利用者負担を原則としますが、明らかに過失と認められる故障については利用者で負担していただきます。

6. 謝辞について

最先端研究開発戦略的強化費補助金による機器として、学会・論文発表など成果が出た場合はそれを明記してください。解析を当研究所に依頼する場合は共同研究として行っていただきます。成果発表は共同研究契約の内容に従って下さい。

7. 連絡先

岡山大学資源植物科学研究所大麦グループ

佐藤和広 kzsato@rib.okayama-u.ac.jp

吉田英哉 hyoshida@rib.okayama-u.ac.jp